

久留米工業高等専門学校	開講年度	令和04年度(2022年度)	授業科目	デジタル信号処理
科目基礎情報				
科目番号	6E23	科目区分	専門 / 選択	
授業形態	講義	単位の種別と単位数	学修単位: 2	
開設学科	機械・電気システム工学専攻(電気電子工学コース)	対象学年	専1	
開設期	前期	週時間数	2	
教科書/教材	デジタル信号処理 岩田彰 コロナ社			
担当教員	池田 隆			
到達目標				
1. デジタル信号処理の基本的な特性を説明できる。 2. 簡単なデジタルフィルタを構成できる。 3. FFT及びリアルタイムシステムについて説明できる。				
ループリック				
	理想的な到達レベルの目安	標準的な到達レベルの目安	未到達レベルの目安	
評価項目1	デジタル信号処理の基本的な特性を説明できる。	デジタル信号処理の基本的な特性をある程度説明できる。	デジタル信号処理の基本的な特性を説明できない。	
評価項目2	簡単なデジタルフィルタを構成できる。	簡単なデジタルフィルタをある程度構成できる。	簡単なデジタルフィルタを構成できない。	
評価項目3	FFT及びリアルタイムシステムについて説明できる。	FFT及びリアルタイムシステムについてある程度説明できる。	FFT及びリアルタイムシステムについて説明できない。	
学科の到達目標項目との関係				
JABEE B-1				
教育方法等				
概要	デジタル信号処理の基礎事項から解説し、ファイルデータを処理するプログラミングによるデータ処理の確認や音声帯域信号による信号処理の実際などの例も含めた講義を行う。リアルタイムでの信号処理など基本的な動作や処理は実際に確認する。実務経験のある教員による授業科目: この科目は企業でDSPを用いたセンシング応用機器開発の実務に従事した教員がその経験を活かして演習や講義を行うものである。			
授業の進め方・方法	講義を中心として、信号処理のデモンストレーションを用いながら解説を進める。課題により基本事項の確認と基礎力の充実を図る。また一部英語による課題資料や講義を取り入れる。講義では事前演習や課題などを課す。本科目は学修単位科目であるので、授業時間以外での学習が必要でありこれを課題として課す。			
注意点	本科目は学修単位であるので、授業時間以外での学修が必要であり、これを課題として課す。 学修単位科目は、15回の教室での学修に加え予習、復習及び課題に毎回取り組むこと。 評価基準: 60点以上合格。再試験は該当者の希望により1度のみ行い、60点以上を合格とし評価は60点とする。			
授業の属性・履修上の区分				
<input type="checkbox"/> アクティブラーニング	<input type="checkbox"/> ICT 利用	<input type="checkbox"/> 遠隔授業対応	<input checked="" type="checkbox"/> 実務経験のある教員による授業	
授業計画				
	週	授業内容	週ごとの到達目標	
前期	1stQ	1週	デジタル信号処理の概要と特徴	
		2週	連続時間信号とシステム	
		3週	フーリエ級数とフーリエ変換	
		4週	標本化	
		5週	離散時間信号	
		6週	Z変換と逆Z変換	
		7週	差分方程式	
		8週	デジタルフィルタ設計の基礎	
	2ndQ	9週	離散フーリエ変換と高速フーリエ変換	
		10週	信号処理の応用	
		11週	信号ファイルの処理(1)	
		12週	信号ファイルの処理(2)	
		13週	DSPによるリアルタイム装置	
		14週	リアルタイム信号処理	
		15週	学習諸項目のまとめ	
		16週		
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標				
分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル
評価割合				
	試験	発表	相互評価	態度
総合評価割合	80	0	0	0
基礎的能力	10	0	0	0
専門的能力	70	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0